

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催
第2回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

平成28年7月2日～3日、山口大学医学部附属病院新中央診療棟多目的室1、多目的室2において、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催第2回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムを開催しました。

ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムとは、米国で開発された ELNEC のプログラムの日本版で、エンド・オブ・ライフ・ケアを提供する看護師に必須とされる能力習得のための系統的な教育プログラムです。

当院のがん性疼痛看護認定看護師の宮内看護師、山口赤十字病院からがん看護専門看護師の金子美幸看護師、徳山中央病院から緩和ケア認定看護師の佐々木文子看護師、国立病院機構岩国医療センターからがん性疼痛看護認定看護師の河村理恵看護師、緩和ケア認定看護師の西藤美恵子看護師、山口県立総合医療センターから緩和ケア認定看護師の小川佐知子看護師をファシリテーターとして迎え、2日間の研修では講義だけでなく、事例検討や、ロールプレイを取り入れて、患者さんご家族に必要なエンド・オブ・ライフ・ケアを包括的に学習しました。

山口県内の地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、特定領域がん診療連携推進病院、宇部・小野田・美祢圏域の経験年数3年以上の看護師が対象で、今回は9施設29名の修了者となりました。

参加者の方々からは、「改めて緩和ケア、エンド・オブ・ライフ・ケアを考える機会になりました。県内、他施設の方とも話ができて、交流することができたので、充実した2日間でした」、「グループワークやロールプレイを行うことで、自分の考えを改めて考えることができた」などの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

《研修会風景》



